



鳥獣害問題

問 駆除活動の課題を伺います。

答 産業振興部長 隊員の高齢化や新たな隊員の確保などが課題であり、また、仕事を持ちながら駆除活動を行う一部の隊員は、駆除依頼に即対応できない現状があります。

問 既存の駆除隊だけでは駆除が追いつかない中、新たな駆除グループをつくる考えはないのか伺います。

答 産業振興部長 現在、集落単位で駆除を行っている地区がありますが、今後は、農業者だけでなく、地区全体の問題として協力し、取り組んでいただければと考えています。

SNSトラブル

問 市内で発生している詐欺事件の内容を伺います。

答 総務部長 山武警察署に確認したところ、オレオレ詐欺、還付金等詐欺、キャッシュカード詐欺盗、架空請求詐欺等が発生しているとのこと。その他、県内では、国際電話を悪用し、自動音声で不安をおおる手口や、ビデオ通話を利用し、偽の警察官等を装う手口、マッチングアプリ等で恋愛感情を抱かせ、金銭を振り込みさせる「SNS型ロマンス詐欺」などが発生しています。

詐欺への対策方法を伺います。

答 総務部長 犯人と話さないことが最も重要となります。国際電話には注意し、留守番電話の活用や迷惑電話対策サービスの利用も有効となります。怪しいと思ったら一人で判断せず、家族や警察等へ相談してください。

山武市人材育成

問 他自治体では、民間企業での研修を実施している事例がありますが、本市の状況を伺います。

答 総務部長 千葉県へ2名の職員を派遣していますが、民間企業での研修は実施していません。

問 市の人材育成基本方針の改定予定を伺います。

答 総務部長 自治体DXの推進や多様な働き方への対応等、行政環境の変化に対応した改定を予定しています。【その他の質問】▼教育現場における防災・防犯訓練▼学校でのSNSトラブル▼近年のスポーツ振興事業▼部活動の地域移行に伴う現状と課題



公債権の徴収状況

問 令和7年度の市の債権徴収の状況や徴収体制等、滞納税金の徴収について、市長の考えを伺います。

答 市長 市の自主財源を確保するとともに、公平で公正な税負担の実現に向けた取り組みとして、市税の徴収は極めて重要な業務であると認識しています。今年度は、収税課の体制強化を図ることにより、徴収対策の中でも大きな課題の一つである、滞納繰越額の一層の縮減に取り組んでいきます。

問 強制徴収債権、非強制徴収債権、私債権の令和7年3月末現在の収入未済額を伺います。

答 市民部長 介護保険料などの強制徴収債権は約7729万円、農業集落排水処理施設使用料などの非強制徴収債権は約915万円、学校給食費などの私債権は約1785万円となっています。

問 市税の徴収担当部署の体制、方法および昨年度の徴収実績について伺います。

答 市民部長 主に、市民部収税課徴収対策係（正職員9名配置）が担当しており、電話や文書による催告、財産の調査および差押え、差し押さえた債権の受入れ等の業務を行っています。

令和6年度は、自動音声電話およびショートメッセージサービスによる催告や、預貯金等の財産調査における電子照会システムの利用により、事務の効率化を図る等、さまざまな徴収対策に取り組みました。

なお、徴収実績は、市税全体としては約55億円の徴収を確保しています。（令和7年3月末現在）

問 今後の課題および対応策について、現状の考え、方針を伺います。

答 市民部長 催告や財産調査の業務が一定程度効率化され、増加する財産調査結果の精査や差押え、その差押え債権の受け入れ業務への対応が課題の一つであると認識しています。

引き続き、職員のスキルアップ、会計年度任用職員を含む職員の事務分担の見直しなど、一層の徴収確保と公平・公正な税負担の実現に向けた徴収対策を推進していきます。

【その他の質問】▼私債権（病院診療費・水道料金等）の徴収状況▼市民との情報共有